

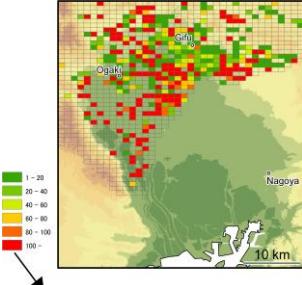
より効率的な地中熱の利用が可能

地中熱利用の適地選定手法の開発

技術分野分類 5203：地盤工学

技術キーワード H：地盤環境工学

産業分類 D-06：総合工事業、F-35：熱供給業、
L-74：技術サービス業（他に分類されないもの）

内 容	概要	地質・地下水情報等に基づいて、地中熱利用の適地選定手法の開発を進めており、濃尾平野の北部や北東部では、より効率的に地中から熱を取り出すことができるようになってきた。また、地下水を揚水する方式では水質が機器に影響を与えるため、水質の分布を既存資料からの計算により求めて、適した地域を求めており（図参照）。
	従来技術・競合技術との比較（優位性）	地中熱利用の利用において、地下の地質や地下水の分布は不均質であり、地下からの熱抽出に影響を与える。そこで、地質・地下水情報等に基づく地中熱利用の適地選定手法の開発により、より効率的に地中熱を利用することが可能になる。
	本技術の有用性	再生可能エネルギーである地中熱利用の普及拡大に貢献できる。
関連情報 (図・表・写真等)		 <p>数値が大きいほど地下水揚水量が多く、地下水利用型地中熱利用の導入が期待される</p> <p>岐阜県における地下水利用型地中熱利用の一般世帯への導入可能率 (%)</p>  <p>濃度が低い地域を抽出 → 中心市街地を適地と判定</p> <p>岐阜市における地下水中の有利炭酸濃度の分布</p>
適用可能製品		・地中熱を熱源とする冷暖房や給湯
技術シーズ保有者	氏名 所属・役職	大谷 具幸 岐阜大学 工学部 社会基盤工学科 地図マネジメント工学 准教授
技術シーズ照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	岐阜大学 産官学融合本部 058-293-2025 / 058-293-2022 yugo@gifu-u.ac.jp

■知的財産

■試作品状況

無

提示可

提供可

作成日 2011年11月1日